

2025年6月18日

各 位

会 社 名 株式会社TSIホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 下地 毅
(東証プライム市場 コード番号 3608)
問 合 せ 先 経営戦略部 財務広報 IR 課 長谷川 俊介
T E L 03(5785)6400

環境方針の改定に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、2023年6月14日に策定した環境方針を改定することを決議しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 改定の背景

当社の環境方針について、急速に進む気候変動等の環境課題によって高まる国際機関や日本の省庁、格付け機関等の要請事項を鑑みて見直しを実施しました。現状の環境方針に対して具体性を加味した変更箇所および改定方針は下記のとおりです。(変更・追記箇所は下線にて記載)

【現状の環境方針】

当社グループは、地球環境への負荷を可視化した上で、「カーボンニュートラルへのチャレンジ」と「ファッションロスゼロの実現」を目指しサステナブルな事業モデルの構築に挑みます。

1. 環境に対する基本姿勢

社会の一員として行動指針に沿い、地球環境の保全に十分配慮します。

2. 環境関連法規の遵守

事業活動を行う国または地域における環境関連法規を遵守します。

3. 気候変動への対応

気候変動の緩和および気候変動の影響への適応に十分配慮します。

4. 環境保全型事業の推進

環境負荷を最小化し、自然資本をプラスに増やす事業モデルを構築します。

5. 資源・エネルギーの有効活用

資源・エネルギーの有限性を認識し、その有効利用に努めます。

6. 循環型社会の構築

廃棄物を極力出さない循環型事業モデルを構築します。

7. 自然環境への配慮

環境保全を推進し、生物多様性の維持・保全に配慮します。

8. 目標設定と情報開示

マテリアリティの解決に向け、目標を設定すると共に、その取り組みの進捗状況について適宜開示します。

【改定後の環境方針】

当社グループは、バリューチェーン全体で地球環境への負荷を可視化した上で、科学的根拠に基づいて負荷を低減することで、持続可能な成長を推進する事業モデルの構築に挑みます。

1. 環境に対する基本姿勢

社会の一員として行動指針に沿い、環境課題に関するステークホルダーとの対話を通じてエンゲージメントとキャパシティビルディングに努めることで地球環境の保全に十分配慮します。

2. 環境関連法規の遵守

事業活動を行う国または地域における環境関連法規を遵守します。

3. 気候変動への対応

気候変動の緩和および気候変動の影響への適応に十分配慮し、2050年までにカーボンニュートラルの達成を目指し、GHGの削減に努めます。

4. 環境保全型事業の推進

環境負荷ならびにリスクを最小化すべく、化学物質の安全管理や、地球温暖化物質・環境汚染物質等の排出の削減を推進し、自然資本をプラスに増やす事業モデルを構築します。

5. 資源・の有効活用

資源やエネルギーの有限性を認識し、その有効利用に努め、より低環境負荷な素材の使用、リサイクル・リユース、ならびに再生可能エネルギーへの転換を推進します。

6. 循環型社会の構築

廃棄物を最小限に抑え、リサイクル原材料を活用するなど、循環型事業モデルを構築します。

7. 自然環境への配慮

バリューチェーンの環境保全を重視し、生物多様性の維持・保全・回復に、お取引先様とともに努めます。

8. 目標設定と情報開示

マテリアリティの解決に向けた目標を設定すると共に、その取り組みの進捗状況について積極的に情報開示します。また、環境に対する負の影響を軽減するために啓発に努め、お取引先様や業務委託先、地域社会、役職員、お客様などバリューチェーン上の全ての関係者とのコミュニケーションを推進していきます。

以 上